

- 1 主題名 自然とともに生きる 3－(2) 自然愛と動植物愛護
- 2 資料名 泣き砂の浜を守る (ふるさとがはぐくむ どうとくいしかわ 小学校中学年)
- 3 ねらい 自然の持つ美しさや、すばらしさ、不思議さを知り、自然を大切にできる心情を育てる。
- 4 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

自然を愛する心や、美しいものを美しいと感じる心は、人間としての心の基本である大切な道徳的価値のひとつであり、固有の人格を形成していくためには不可欠な心である。また、自然の中の自分を知り、そこに共生する様々な生き物たちに気付きながら、一人一人が生命に対する畏敬の念に根ざした人間尊重の精神を培い、人間の生命があらゆる生命との関係や調和の中で存在し生かされていることを自覚することが大切である。

中学年の段階においては、特に自然に親しみながら自然のもつ美しさやすばらしさに感動するとともに、その恐ろしさや不思議さなどを含めて感じ取ることができるように指導する必要がある。それらを踏まえて、自然やその中に生きる動植物を大切にできる心をもっと深めていくことが求められる。

(2) 児童の実態について

本学級は、仲が良く元気な児童が多い。休み時間では、みんなで鬼ごっこをしたり、ドッジボールをしたりしている姿が見られる。また、思ったことを素直に話す児童も多く、喧嘩にもなりやすいが思ったことを遠慮せずに言い合いながら解決していることも多い。理科の時間では、興味をもって昆虫の居場所を探す児童はたくさんいたが、昆虫を飼いたいという児童は見られなかった。また、1学期のヘチマの世話では、植えるまでは楽しんでしたが、水やりが他人ごとになり、当番だからしているという様子が見られた。普段の生活をみると、課外活動や習い事で放課後や休日を過ごす児童が多い。休日に家族で出かける児童も多く、豊かな自然に囲まれている環境にありながらもなかなか自然に触れる機会が少ない。

(3) 資料について

本資料は、平成9年に起きた重油タンカー事故で琴ヶ浜に流れ着いた重油の回収作業を行い、もとの浜を復活させる話である。琴ヶ浜は日本でも数少ない「泣き砂」が広がる浜である。泣き砂は環境汚染のバロメーターと呼ばれ、海が汚れると浜の砂に不純物が混じり、踏んでも鳴かなくなる。そんな浜に大量の重油が流れ着いた時の住民たちの気持ちや、辛い回収作業での住民たちの思い、そしてようやく昔の砂浜を取り戻したときの板谷さんの気持ちや「泣き砂を守る会」を存続している思いなどを通して、自然を大切にしようとする気持ちを育むことができる。

また、『ふるさとが育む 道徳いしかわ』映像資料～琴ヶ浜～から、泣き砂の不思議さを耳で感じ、砂のきれいさを目で感じることで、自然の素晴らしさや貴重さを実感することができる。そして、「ふるさとが育む道徳いしかわ映像資料～インタビュー(※重油流出事故と回収活動)～」から実際の重油まみれの浜を見せることで、回収作業をする人たちの心の葛藤をより深く考えられるようにすることができる。

5 指導にあたって

気付く段階では、児童の経験と関連しやすい自然や普遍的に美しいと感じられる自然を見せることを通して、自然の美しさを印象付けたい。また、泣き砂を歩いた時の音を聞かせ、「何の音だろう。」と問いかけることで泣き砂の不思議さを感じ取らせたい。さらに「ふるさとが育む道德いしかわ映像資料～琴ヶ浜～」の視聴で資料への方向付けを図る。

深める段階では、『ふるさとが育む 道德いしかわ』映像資料～インタビュー(※重油流出事故と回収活動)～から重油まみれになった実際の琴ヶ浜を見せ、その時の絶望感や不安感を共感し、さらに中心発問では辛い作業中の心の葛藤を考える。交流の際には「そんな気の遠くなるようなつらい作業なのに、止めようとは思わなかったのかな。」と補助発問をし、板谷さん達には、そこまでしてでも取り戻したいものがあるんだという思いに気付くようにしたい。グループでの交流では、ファシリテーター役として地域の方に入っただき、交流を促進してもらいながら児童達の考えに触れてもらう。

見つめる段階では、さらに新しい写真をスライドで見せて「みんなにも、ずっと残していきたい風景や場所はあるか。」について問い、自然に関する思いをもたせる。さらには引き続き地域の方々も交えて、残したい風景や場所を自己の経験にもとづいて語り合う。

あたためる段階では、再度スライドにBGMを付けたものを流しながら振り返りを行い、この先どんな自然や風景、場所を残したいかという思いや、改めて自然の美しさや素晴らしさに対する感動が膨らむようにしたい。

【研究とのかかわり】

・「価値について考えるための深めの発問」について

本時での深めの発問を「みんなにも、ずっと残していきたい風景や場所はあるか。」とした。本来ならば「自然って何かな。」という発問が考えられるが、自然に触れる機会の少ない児童の実態を踏まえ、残したいと思った理由から切り込みながら、自然に対する思いや気持ちを引き出したい。

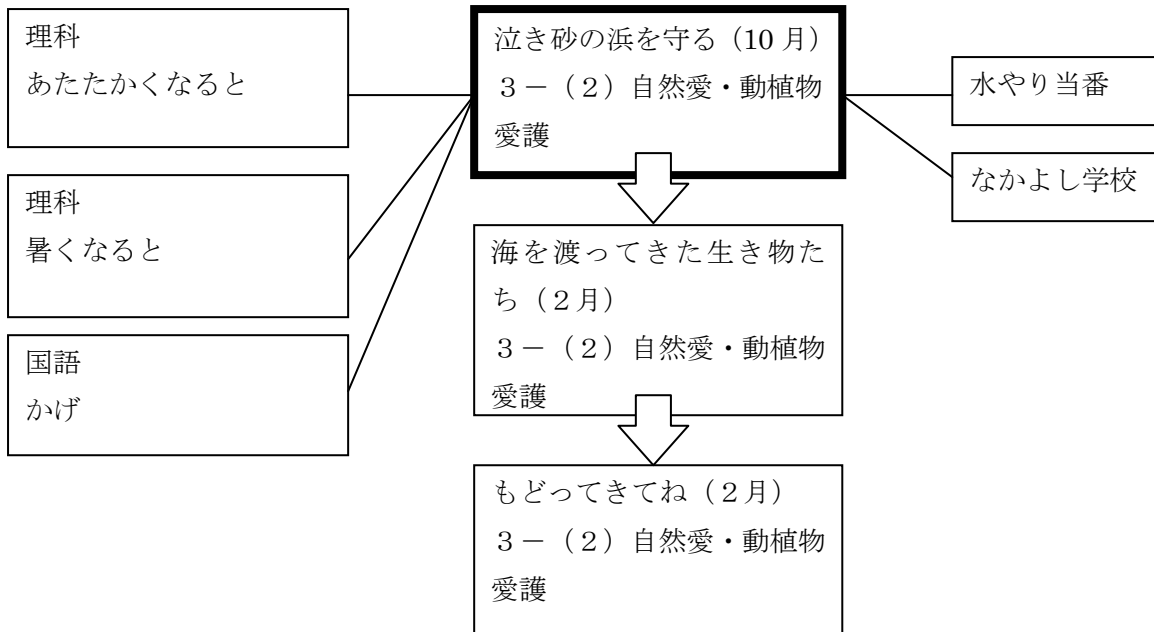
・「児童同士の対話の充実」について

本時では、中心発問の場面でのグループ交流にファシリテーター役として地域の方に入ってもらい、辛い回収作業での心の葛藤が数多く出るようにする。また、自然と親しむ経験の少ない児童の実態を踏まえ、地域の何気ない自然に目を向けてもらうために、見つめる段階でも地域の方を交えて、残したい風景や場所について交流し、対話を通したより深い価値についての理解を図りたい。

・「補充・深化・統合」について

本時は、「補充」の時間ととらえる。今年度、自然愛と動植物愛護の価値をねらった授業は初めてで、この時間を通して、自然の美しさや素晴らしさ、不思議さに感動し、身の回りにもそのような自然がたくさんあることに気付くことで、児童の自然に対する見方や考え方を深めたい。

6 他の教育活動と本時の位置付け



7 資料分析

場面	登場人物の心の動き	◎中心発問 ○基本発問	○深めの発問
○重油が琴ヶ浜に流れ着くところ	<ul style="list-style-type: none"> ・なんてことだ。 ・もう泣き砂の音が聞けないのか ・どうしてこんなことになったんだ。 	絶望 不安 怒り ↓	○海はこげ茶色にそまり、悪臭があたり一面に広がる琴ヶ浜を見たとき、板谷さん達はどのようなことを思っただろう。
○回収作業がはじまるところ	<ul style="list-style-type: none"> ・本当にもと通りになるのだろうか。 ・みんな協力してくれてありがとう。 	不安 感謝	◎手が思うように動かなくなりながら、板谷さん達はどのようなことを思っただろう。
○絶望的な見方の中、「泣き砂を守る会」を結成するところ	<ul style="list-style-type: none"> ・もう一度、泣き砂の音を聞きたい。 	願い ↓	
○小さな音が鳴ったところ	<ul style="list-style-type: none"> ・やった、あと少しだ ・鳴ってくれてほっとした ・協力してくれたみんなありがとう 	希望 安堵 感謝	○みんなにも、ずっと残していきたい風景や場所はありませんか。

8 本時の学習活動

(1) 準備 挿絵, ワークシート, タブレット PC, 「ふるさとがはぐくむ道徳いしかわ」映像資料

(2) 展開

過程	学習活動	<教師の働きかけ> ・予想される児童の考え 《中心発問》での反応の類型化 ▽□◇	◎評価 ・指導上の留意点
気 付 く 5 分	1 自然のきれいさを感じる。	<自然のきれいな写真を見せる。> ・うわあ, きれいだなあ。 ・あつ, ここ知つとる! ・かわいいなあー。 <この音は何だろう。> ・犬の鳴き声かなあ。 ・鳥の鳴き声かなあ。 ・えっ, 砂の音? ・ふしぎだなあ。 ・アップで見るときれいな砂だな。	・児童の経験と結びつきやすい自然も入れながら, きれいな風景写真を見せる。 ・泣き砂の音を聞かせてから, 「ふるさとがはぐくむ 道徳いしかわ映像資料～琴ヶ浜～」の映像を見せ, 琴ヶ浜のきれいさや泣き砂について興味をもたせながら, 資料の方向付けを図る。
深 め る 20 分	2 資料「泣き砂の浜を守る」を読んで話し合う。	<海はこげ茶色にそまり, 悪臭があたり一面に広がる琴ヶ浜を見たとき, 板谷さん達はどのようなことを思っただろう。> ・どうすればいいんだろう。 ・泣き砂は, もどるのだろうか。 ・もう, この海で遊べないのかな。 ・もう無理だ。 ・ひどい。 《手が思うように動かなくなりながら, 板谷さん達はどのようなことを思ったのだろう。》 ▽やめたいな。 ▽これ以上, やってもむだじゃないか。 □みんな, 大変だけど, いっしょにがんばろう。 ◇大変だけど, がんばって泣き砂を取り戻すぞ。 ◇もとの自然にもどしたい。	・資料を読み終えた後, どのようにして泣き砂は音を取りもどしていったかを思い出させながら場面をおさえる。 ・ワークシートに記入する。 ・地域の方にも入ってもらい, グループで交流する。 ・「そんな気の遠くなるようなつらい作業なのに, 止めようとは思わなかったのかな。」と補助発問をする。 ・板谷さん達には, そこまでしてでも, 取り戻したいものがあるんだということに気付くようにする。
見 つ め る 15 分	3 地域の方と自然について話し合う。	<みんなにも, ずっと残していきたい風景や場所がありますか。> ・いつも夏泳ぎに行く海は残ってほしいな。 ・よく釣りに行く海はきれいな海で残ってほしい。 ・映像のあの風景が近くにあると知って行ってみたいし, ずっと残っていてほしい。 ・(地域の方)わたしは小さい頃, よく近くの海で潜ってサザエをとったり, 山で遊んだりした。今は, そんな場所もなくなってきているね。そんな, 海や山がなくなってきているね。 ・(地域の方)わたしも, ○○くんと同じで, あの場所が好きだし, 残していきたいですね。	・導入での写真に戻り, 児童の体験を想起させながら, さらに新しい写真をスライドで見せ, 話しやすいようにする。 ・理由を聞きながら, 美しい自然に対する思いや, どんな気持ちにさせられるかを引き出す。 ◎自然のもつ美しさや, すばらしさ, 不思議さを知り, 自然を大切にしたいという気持ちをもっている。(発言・ノート)
あ た た め る 5 分	4 学習を振り返る。	<授業を振り返ろう。> ・今日の授業で, さらに自然を大切にしたい気持ちが強くなりました。 ・こんなきれいな自然や風景が近くにあると知ったので見に行きたいし, 大切にしていきたい。 ・○○さんの話を聞いて, 昔みたいな自然に戻ってほしいです。 ・まだまだ, 知らない自然がたくさんあるので調べたいし, これからもずっと自然がなくなつてほしくありません。	・BGMを流し, どんな自然や風景, 場所を残したいかという思いや, 改めて自然の美しさや素晴らしさに対する感動が膨らむようにする。

対話